

## 家庭学習の手引き 保護者用

家庭学習は、学校で学習したことをしっかりと身に付けるために、また、自ら学ぶ習慣を身に付けるためにもとても大切なものです。

小学生のうちに机に向かう習慣が後々の家庭学習に大きな影響を与えます。今のうちに身に付けさせてください。

### 1 家庭学習のさせ方

- ① 担任から出る「宿題」を最初にさせてください。
- ② 時間が余ったら、「家庭学習の手引き」の中から選んでさせてください。  
(5・6年生には自分で考えさせてもいいでしょう。)
- ③ どうしても勉強に飽きてしまうときは、読書やお絵かきなど何でも構いませんので必ず机に向かわせてください。「机に向かう」という習慣が大事です。
- ④ 勉強が終わったら、次の日の準備をさせてください。

### 2 時間のめやす

- ・ 低学年 15分から20分以上
- ・ 中学年 30分から40分以上
- ・ 高学年 50分から60分以上

### 3 家庭学習における保護者の役割

#### ①学習時間の確保

塾、習いごと、スポーツなど、子どもたちもいろいろと忙しいと思いますが、短い時間でも、「必ず机に向かう」習慣を身に付けさせましょう。「何時から何時まで勉強する」ということを、家庭でよく話し合っ、無理のないように時間設定をしてください。

#### ②学ぶための環境づくり

例えば、テレビをつけながら勉強をしても、効果は上がりません。お子さんが落ち着いた学習環境で学習できるように、各家庭で工夫したり話し合ったりしてください。

#### ③見届け・励まし

子どもが学習したことに目を通し、声をかける。褒めたり励ましたりしてあげることで、お子さんはどんどんやる気を出します。

1週間に1回、コメントを書いてあげたり、スタンプを押してあげたりなどの見届けをお願いします。また、お子さんの様子を把握しながら、できるだけいっしょに取り組んでくださるようお願いします。

#### ④学校との連携

お子さんの学習の様子を担当にお知らせください。

か てい がくしゅう て び

# 家庭学習の手引き

## 2年生用

とくしま し じょうとうしょうがっこう

## 徳島市城東小学校

# かてい学しゅうのてびき 2年生よう

## 1 かてい学しゅうをするときには

- ① 20分いじょう 学しゅうしましょう。
- ② はじめに、学校のしゅくだいをしましょう。
- ③ 時間があまったり、もっとがんばりたいときは、下の2の中からえらんでやりましょう。
- ④ テレビはけして、学しゅうしましょう。
- ⑤ 学しゅうがおわったら、れんらくちょうをみて、あしたの学校のじゅんぴをしましょう。

## 2 しゅくだいのほかに、こんな学しゅうをしてみよう。

- ① きょうの じゅぎょうで べんきょうしたことの おさらいをしましょう。
- ② きょうかしょの文しょうを はっきりした声で 正しく すらすらと読めるように れんしゅうしましょう。
- ③ かん字のれんしゅうをしましょう。
- ④ けいさんのれんしゅうをしましょう。
- ⑤ テストやプリントでまちがえたところを、ノートに正しくなおして書いてみましょう。
- ⑥ 本をたくさん読みましょう。

## きょうかごとの べんきょうのしかた

- |             |   |
|-------------|---|
| こ<br>く<br>ご | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 本よみは、すらすらよめるように、声に出してれんしゅうする。(正しくよめたか、おうちの人にきいてもらい、れんらくちょうにサインしてもらおう。)</li> <li>② 正しく ていねいに ししゃする。</li> <li>③ かん字のれんしゅうをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・かくすうを声に出しながら 書きじゅんに気をつける。</li> <li>・おぼえるまで くりかえしやる。</li> </ul> </li> </ol> |
|-------------|---|

こ く ご	<ol style="list-style-type: none"> <li>④ ことばあつめをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小さい「や」「ゆ」「よ」「つ」のつくことば</li> <li>・「ㇿ」「ㇿ」のつくことば</li> <li>・かん字でなかまあつめ</li> </ul> </li> <li>⑤ みじかい文をつくって書く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ならったかん字や ことばをつかう。</li> <li>・しや作文を書く。</li> </ul> </li> </ol>
さん す う	<ol style="list-style-type: none"> <li>① べんきょうしたことを ふくしゅうする。</li> <li>② きょうかしょや もんだいしゅうを うつしてとく。</li> <li>③ けいさんは、せいかくに はやく できるようにれんしゅうする。</li> <li>④ じぶんで もんだいを作って ノートに書く。</li> <li>⑤ まちがえたもんだいを といてみる。</li> </ol>
生 か つ	<ol style="list-style-type: none"> <li>① わたしたちのまわりの 花や虫をかんさつし、まとめる。</li> <li>② 気がついたこと、かんじたことを ノートにまとめる。</li> <li>③ じぶんがそだてた生きものの かんさつをする。 (花・やさい・虫など)</li> <li>④ ずかんなどをしらべて、わかったことを書く。</li> <li>⑤ はたらく人のようすをしらべて、ノートに書く。</li> <li>⑥ はたらく人に、はなしをきいてまとめる。</li> </ol>
音 が く	<ol style="list-style-type: none"> <li>① うたのかしを正しくおぼえ、きれいな声でうたう。</li> <li>② きょくのリズムやかいめいをおぼえる。</li> <li>③ けんぱんハーモニカのれんしゅうをする。</li> <li>④ いろいろな音がくをきく。 (CD [シーディー] やテレビ、なまえんそうなど)</li> </ol>
そ の た	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 読書して、かんそうを書く。</li> <li>② いえにあるもんだいしゅうをする。</li> <li>③ なわとびやてつぼうなどで、たいりよくづくりに チャレンジする。</li> </ol>
日 き	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 見つけたことを 書きましょう。 (天気や空のこと、草花や虫のこと、はたらいている人のことなど)</li> <li>② じぶんがしたことを ふりかえりましょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校でしたことを おもいだしましょう。 (おうちの人におしえたいこと)</li> <li>・おでかけしたこと、ともだちとあそんだこと (先生におしえたいこと)</li> </ul> </li> <li>③ そのときのじぶんの気もちも書きましょう。</li> <li>④ ばしょや じかんも わすれずに書きましょう。</li> </ol>